

平成 27 年度 事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)



公益財団法人 九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

平成 27 年度 事業報告

定款第 5 条に基づき、平成 27 年度は、以下の事業を実施した。(総括)

1. 地域経済研究事業		
(1) 自主研究事業		
①月報等定期刊行物の発行	②2016年版 九州経済白書	
③幹事会提案の自主研究	④アジア研究及び関連事業の推進	
⑤九州圏広域地方計画の周知に向けた協力	⑥その他の事業	
(2) 受託研究事業		
(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業		
2. 経済図書館事業（BIZCOLI 事業）		
(1) BIZCOLI の利用状況		
(2) BIZCOLI でのセミナー・イベント		
①九経調イブニングセミナー	②会員共催セミナー	③経営スキルアップセミナー
④九州国立博物館応援セミナー	⑤サイエンスカフェ	⑥文化セミナー
⑦ビズコリクラブ	⑧チャイニーズ・マネジメント&マーケティング・スクール（CMMS）開催協力	
(3) 企業・団体との共同展示		
3. 講演会・セミナーの開催		
(1) 定例の講演会・セミナー		
①九経調交流会	②研究報告会	③経済講演会
④調査技法セミナー	⑤アジア経済講演会	⑥九州経済白書説明会
⑦九経調セミナー		
(2) 外部主催の講演会・セミナーへの協力		
4. 経済団体等支援事業		
(1) 福岡経済同友会からの事務局受託		
(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局		
(3) アジア半導体機構（ASTSA）の事務局		
(4) 地域政策デザイナー養成講座の事務局		
(5) 九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク（SONEQ）の事務局		
(6) 九州エコライフポイントの事務局		
(7) イスラム圏ビジネスネットワーク in 九州（IBnet）の事務局		
5. 社会貢献活動等		
(1) 対外活動		
①審議会・委員会への委員派遣	②大学非常勤講師派遣	③テレビ・ラジオ等への出演
④新聞・雑誌掲載	⑤雑誌等への寄稿	⑥国際会議等への参加
(2) インターンシップの受入		
6. 組織運営の基盤強化		
(1) 会員基盤の強化		
①賛助会員	②BIZCOLI 会員	
(2) 公益財団法人としての運営組織の確立		
(3) 創立 70 周年記念事業の準備		

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、時宜を得たテーマを設定することで、会員や地域に役立つ実践的な調査研究を実施している。平成 27 年度は、特に「地方創生」に関する研究に力を入れた。当会の大型自主研究である九州経済白書では、地方創生で重要な役割を果たす中核企業をテーマに研究した。幹事会の提案による自主研究でも、地方創生をテーマに実施し、月報のワンポイント解説や調査技法セミナーと連動しながら調査・研究を行った。

また、平成 27 年度は、「アジア研究及び関連事業」にも注力した。8 年ぶりに当会が主幹事となって実施した日韓海峡圏研究機関協議会や、日韓国交正常化 50 周年を記念した韓国・九州経済フォーラムの開催、アジア半導体機構 (ASTSA) でのベトナム事業をはじめ、各種のアジア関連の研究や事業を展開した。平成 27 年度上期には、国土交通省九州地方整備局の九州圏広域地方計画の周知に向けた協力も行った。

①月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

毎号テーマを設定して一体性を持たせた編集を行った。また、具体的な企業の活動事例等を求める会員ニーズに対応した連載を企画した。9 月号の福岡空港と北九州空港の一括運営に関するレポートや、11 月号の航空機産業の産業構造に関するレポート、3 月号の九州新幹線開業 5 周年特集号のレポートは、特に反響が大きかった。

発行年月	内 容
5 月号 4 月 28 日 (火)	特 集 地方創生・地方分権・道州制 (Report) 地方創生・地方分権・道州制について (講演録) 福岡空港の歩み～福岡の発展に寄与してきた福岡空港 (連載) 価値創造の源流 (20) (株)さわやか倶楽部 海からみえる九州 (16) 関門海峡で鍛えられた技術の海外展開
6 月号 5 月 28 日 (木)	特 集 離島発の国際展開 (Report) 木材と水産物輸出による離島活性化～対馬発の貿易促進に向けて たかが 100km されど国境～与那国と台湾の交流 国境離島・対馬における「国境観光」の取組と課題 史跡等文化財活用への PPP 導入のあり方 ～鶴丸城御楼門復元プロジェクトからの考察 (One point 解説) 2040 年 500m メッシュでみる九州の人口予測 (連載) 価値創造の源流 (21) (株)源麴研究所 九州今昔物語 (2) 金隈のしゃれこうべが語る九州と東アジア アグリプレナーの実践 (6) 西日本鉄道(株)

7月号 6月30日 (火)	特 集 医療技術の海外展開 (Report) 医工連携による医療救援デザインの国際発信 ICTを活用した医療サービスにおけるソーシャル・ビジネス～バングラデシュでの九州大学の活動を事例として (講演録) 香港から九州へ～更なる誘客に向けたアプローチ (One point 解説) 進むリタイア層の還流現象～住民基本台帳人口移動報告からみた人口移動 (連載) 九州の未来力 2030 (6) 価値創造の源流 (22) 九州電力㈱技術本部総合研究所 アグリプレナーの実践 (7) セブンフーズ㈱
8月号 7月31日 (金)	特 集 歴史活用～戦後 70 年を機に展望 (Report) 戦争遺跡と資料館による記憶の伝承～九州の取組と問題点 「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録と地域活性化 (講演録) 戦国大名たちのアジア戦略 (連載) 価値創造の源流 (23) ㈱マイン 海からみえる九州 (17) 長崎の海が残したキリスト教関連遺産
9月号 8月28日 (金)	特 集 これからの福岡空港 (Report) 地場企業の海外事業展開に寄与する福岡空港国際線 福岡空港と北九州空港の一括運営による北部九州活性化の可能性 (講演録) グローバル時代に対応する福岡空港 (One point 解説) 500m メッシュでみる「しごと」の場の変化 (連載) 九州の未来力 2030 (7) 価値創造の源流 (24) 大分デバイステクノロジー㈱ アグリプレナーの実践 (8) ㈱九電工天草オリーブ園 ALVIO
10月号 10月2日 (金)	特 集 ビッグデータ活用による社会分析 (Report) SNS ログデータを活用したアニメ聖地巡礼者の行動分析～九州での活用可能性 社会分析におけるオープンデータの可能性 ～医療費に関する九州の特徴把握を事例として 市場変化の把握と企業成長に必要なデータ分析 ～重要な 3 C 分析の視点と㈱ヴァリューズの取組 2015 年度九州経済の見通し (改訂) 雇用・消費さえず、成長率を 1.1%に下方修正 (講演録) 時空を超えた 100 物語 (連載) 価値創造の源流 (25) NPO 法人 AIP 海からみえる九州 (18) 砂ゼロアサリが導く新たなビジネスモデル
11月号 10月30日 (金)	特 集 輸送用機器製造と九州 (Report) 航空機産業の産業構造と九州・山口へのインプリケーション グローバルな生産ネットワークの拡張と九州・山口の自動車産業 九州における造船業の現状と今後の見通し (講演録) アジアゲートウェイとしての FUKUOKA (One point 解説) 九州・山口の市町村における地方創生に関する取組状況 (連載) 価値創造の源流 (26) ㈱プレシード アグリプレナーの実践 (9) ㈱農研堂
12月号 11月27日 (金)	特 集 地域と企業の市場共創 (Report) 「おたがいさまコミュニティ」形成手法の開発プロセス 地域課題解決の視点によるニッチ市場への参入方法 (連載) 九州の未来力 2030 (8) 海からみえる九州 (19) 津波に強いまちづくりを目指す 価値創造の源流 (27) ㈱友樹飲料 九州今昔物語 (3) 九州・沖縄の伝統的工芸品の成り立ち

1月号 12月25日 (金)	特 集 九州の新たな1年 (Report) 2016年 九州の論点 (連載) 価値創造の源流 (28) 日之出水道機器(株) アグリプレナーの実践 (10) (有)大塚園
2月号 1月29日 (金)	特 集 経済見通し (Report) 投資回復で全国を上回る 1.8%成長 (講演録) 激動する世界経済と日本 (One point 解説) 2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた新規事業への取組 状況 (連載) 九州の未来力 2030 (9) 海からみえる九州 (20) エネルギーセキュリティを担う石油備蓄基地 価値創造の源流 (29) (株)グルーヴノーツ 九州今昔物語 (4) 九州考～「九州」という言葉のルーツ
3月号 3月2日 (水)	特 集 九州新幹線開業5周年 (Report) 高速交通体系の変容がもたらした九州の交通事情 ～「選択と集中」による九州の交通の持続可能性とは 九州新幹線全線開業5年の回顧と展望 (講演録) 九州発の水素社会 (連載) 価値創造の源流 (30) (株)木原製作所 アグリプレナーの実践 (11) 水分計測センサーの農業への活用 九州今昔物語 (5) 失われた「筑後随一の景勝地」黒崎～干拓事業の功罪
4月号 3月31日 (木)	特 集 インダストリー4.0 (Report) 第4次産業革命の実像と日本製造業としての道標 インダストリー4.0 (第4次産業革命) と海外企業の動向 Industrie4.0の地域経済に対する成長誘引への期待 (講演録) 新時代の経済論～ピケティブームのその後 (連載) 価値創造の源流 (31) 秘密基地 海からみえる九州 (21) 復権する九州の海港

2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

九州・山口の外資系企業について4年ぶりに分析したほか、海外進出については4年ぶりに過去分を含めた全面改訂を行った、また2015年上半期・下半期の設備投資の分析を行った。

- 8月号 (No1152) 「九州・山口の外資系企業 2015」
- 10月号 (No1153) 「九州・山口の設備投資 2015 上半期 (1～6 月)」
- 3月号 (No1154) 「九州・山口企業の海外進出 2015」
- 4月号 (No1155) 「九州・山口の設備投資 2015 下半期 (7～12 月)」

3) 図説九州経済

『2016 年版 図説九州経済』 平成 27 年 (2015 年) 10 月 16 日刊行

「地方創生」へのニーズを考慮して、人口に関する解説を充実させた。

4) メールマガジン (九経調ニュースレター)

配信件数 146 件 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS

HEADLINE」を月2回のペースで配信したほか、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

②2016年版 九州経済白書

『中核企業と地域産業の新陳代謝』 平成28(2016)年2月 刊行

第49回目となる2016年版九州経済白書は、地方創生に対する関心の高まりを踏まえ、「まち」「ひと」「しごと」のうち「しごと」に焦点を当て、中核企業を中心に研究を行った。

■概要

九州の地域産業にとって、中核企業が果たす役割は極めて大きい。生産性向上、価値創出、雇用創出などに対する中核企業の重要性を明らかにするとともに、次世代産業の形成やベンチャー企業の育成など、地域における新産業・新事業創出に対する役割や位置づけを明確にした。「中核企業」と「産業の新陳代謝」をキーワードとして、地域に多様で質の高い「しごと」を創出するしくみを探り、地方創生の可能性を示した。

■構成

総論 中核企業と地域産業の新陳代謝～新事業の創造と事業生態系づくり～

岡野秀之 調査研究部 次長

各論

第1章 九州地域の基盤産業の特徴 中村良平 岡山大学大学院 教授

第2章 基盤産業を形成する中核企業 徳田一憲 調査研究部 主任研究員

第3章 創業・新事業による地域経済のリモデル 中川敬基 調査研究部 研究主査

第4章 地域中核企業が生み育てる新たな事業 内川信幸 調査研究部 調査役

③幹事会提案の自主研究

『地方創生～「ひと」と「しごと」の好循環に向けて』 平成28年5月 刊行予定

平成26年度の九経調幹事会での決定を受け、平成27年度に調査研究・事業を実施した。

■概要

「ひと」づくり（出生率向上）の好循環を生む「しごと」づくり（地方での新しい雇用創出）について研究した。人口流出が著しい九州における新卒労働市場の需給ギャップを切り口に、多様な職種を生み出す本社機能移転を進めるにあたって必要な条件や、出生率向上につながる企業と社会の取組みについて検討した。

■構成

第1章 地方創生とは

第2章 「ひと」の現状分析

第3章 「ひと」への好循環に向けて

第4章 「小さな拠点」からのラストワンマイル問題解決に向けて

執筆者 調査研究部 片山礼二郎 次長、松嶋慶介 研究主査、小柳真二 研究員

■調査中での結果の公表・発信

「地方創生」については、各地方自治体で人口ビジョンや総合戦略の策定が進められていたため、時機を得た調査を実施し、結果をミニレポートとして「九州経済調査月報」に掲載した。また、12月16日の幹事会や研究報告会で結果を中間報告した。5月末に報告書を作成。

＜「九州経済調査月報」への関連記事の掲載＞

- ・6月号 2040年 500mメッシュでみる九州の人口予測
- ・7月号 進むリタイア層の還流現象～住民基本台帳人口移動報告からみた人口移動
- ・9月号 500mメッシュでみる「しごと」の場の変化
- ・11月号 九州・沖縄・山口の地方創生への取組状況調査結果

＜結果報告等＞

- ・12/16（水）幹事会で概要を発表
- ・12/16（水）研究報告会を開催（於・ホテルニューオータニ博多、参加者230名）
- ・5月 研究報告 No.832『地方創生～「ひと」と「しごと」の好循環に向けて』刊行

■自主研究に連動した『調査技法セミナー』の実施

後述の3.（1）④「調査技法セミナー」を、「地方創生」の自主研究事業と連動した内容で、8月3～4日にかけて実施した。

④アジア研究及び関連事業の推進

1) 日韓海峡圏研究機関協議会の開催

本協議会は、九州北部と韓国南部の計10シンクタンクで構成され、共通テーマの下、研究交流活動を行っている。今年度は8年ぶりに当会が主幹事となって事業を行った。

6月1日には、日本側5機関で構成される「九州北部3県研究機関連絡会議」の総会を、当会主催で開催し、9月の協議会の内容について確認した。9月16～17日にはソラリア西鉄ホテル（福岡市）で、当会が主幹事となって「第22回 日韓海峡圏研究機関協議会」を開催した。総会では、新会長に当会の高木直人理事長、副会長に蔚山発展研究院の黄時永院長が選任された。また、次年度の共通研究テーマを、今年度に引き続き「少子高齢化への対応」とし、来年、第23回を韓国・蔚山市で開催することが決定した。研究報告会は、一般への公開形式で行われ、基調講演と、日韓それぞれ3機関の研究員による研究報告、ならびに指定討論を行った。

■日韓海峡圏研究機関協議会 研究報告会

区分	テーマ	講師	参加者数
基調講演	Aging in Placeの実現を目指す柏プロジェクトの取組み～千葉県柏市における長寿社会のまちづくりから～	東京大学高齢社会総合研究機構 学術支援専門職員 木村清一氏	54人
研究報告会	慶尚南道の高齢化の現状と政策課題	慶南発展研究院 研究委員 曹周鉉氏	
	全羅南道におけるローカルニーズに基づいた出産奨励政策	全南発展研究院 責任研究委員 金大成氏	
	済州における人口流入支援策	済州発展研究院 専門研究委員 鄭潁台氏	
	国際介護人材の養成の調和化	(公財)福岡アジア都市研究所 特別研究員・九州大学名誉教授 小川全夫氏	

	九州地域における人口減少対策：別府市を例として	(公財)アジア成長研究所 上級研究員 田村一軌氏	
	高齢者の就労ニーズと多様な働き方を支援するうえでの課題の考察	(公財)九州経済調査協会 調査研究部 南研究主査	

2) 日韓国交正常化 50 周年記念事業の開催

平成 27 年は日韓国交正常化 50 周年にあたることから、駐福岡大韓民国総領事館と共催で、6 月 3 日に西鉄グランドホテル（福岡市）において「韓国・九州経済フォーラム」を開催した。

■韓国・九州経済フォーラム

日 程		発表者	参加者数
6 月 3 日 (水)	【基調講演】 未来に向けた韓日交流、九州の役割は	早稲田大学 教授 深川由起子氏	237 人
	【パネルディスカッション】 韓国と九州の経済交流 ～WinWin の関係に向けて	パネリスト ㈱谷川建設 代表取締役 谷川喜一氏 ポスコ JKPC㈱ 代表理事 金宗烈氏 駐日大韓民国大使館 経済参事官 金玟澈氏 早稲田大学 教授 深川由起子氏 モデレータ (公財)九州経済調査協会 総務部 加峯次長	

3) ASTSA によるベトナムへの半導体技術支援

当会が事務局を受託しているアジア半導体機構（以下、ASTSA）では、平成 27 年度に主にベトナム、台湾、インドとの交流を行った。このうちベトナムとは、MOU の締結先であるホーチミン半導体協会（HSIA）と連携し、ホーチミン市の半導体開発プロジェクトを支援している。国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）が国家プロジェクトとして開発してきた「ミニマルファブ*」のベトナムへの技術移転を目的に、福岡、東京、ホーチミンにおいて、ASTSA 主催で会議や勉強会を重ねてきた。

9 月 15 日には、ホーチミン市庁舎において、ミニマルファブ技術研究組合とサイゴンハイテックパーク（以下、SHTP。ホーチミン半導体協会理事）との間で MOU が締結された。今後、SHTP のエンジニアをミニマルファブ技術研究組合で受け入れて人材育成にあたるとともに、ホーチミン市内の大学も参加して半導体の共同開発を行う。

なお、ASTSA は、これまでの HSIA への支援事業が評価され、当会の中川研究主査がホーチミン市人民政府より表彰された。

* ミニマルファブ…極小規模で半導体製造工場を形成し、少量の半導体チップを低コストかつ短期間で製造可能にすることを目的とした半導体製造システムの構想、またはその装置群。

4) その他アジア関連の研究会等の開催・参加

6 月 18 日には（公財）日韓文化交流基金が主催する「日韓国交正常化 50 周年記念学術大会」（韓国：済州島）で加峯次長が発表した。9 月 4～5 日の「福岡・釜山フォーラム福岡会議 2015」には高木理事長が発表した。また、3 月 5～6 日に福岡市で開催された「第 10 回アジア太平洋アクティブ・エイジング会議 in 福岡」では、科学技術振興機構（JST）からの委託調査の関連で、南研究主査が報告のほか、企業マッチングをアレンジした。

受託研究では、九州経済産業局からの委託で、環黄海経済・技術交流会議の日韓中 3 国共同研究調査に参画している。5 月（福岡市）と 9 月（中国・北京）の 2 回の 3 国ワークショップを経て、11 月 4 日の韓国・釜山での「第 14 回 環黄海経済・技術交流会議」では、第 3 回ワークショップで徳田主任研究員が、本会議で田代常務理事が、それぞれ再生可能エネルギーの協力方策について中間報告した。

そのほか、国境観光に関するセミナーや中華経済研究院（台湾）との意見交換会のほか、アジア以外にも、在福岡アメリカ領事館との懇談会や、英国総領事館と共同主催のセミナーを開催した。

2 月には、当会が平成 26 年度に MOU を締結した上海社会科学院日本研究センター（上海市）に、能本研究主査と上田研究員の 2 名を派遣し、学術交流会を開催した。

■その他の国際的な会議・研究会での発表等

日程 場所	会議名	テーマ	講師・参加者	参加 人数
4 月 15 日（水） 在福岡アメリカ 領事館	在福岡アメリカ領事館・再生可能 エネルギー懇談会	水素社会実現に向けた 九州・山口の取組	徳田主任研究員（報告）	10 人
5 月 30 日（土） ソラリア 西鉄ホテル	第 1 回ボーダースタディーズア ジア太平洋セミナー （主催：九州大学アジア太平洋未 来研究センター、後援：（公財）九 州経済調査協会ほか）	ボーダーツーリズム九 州・沖縄と北海道の取組	島田研究主査 （討論コメンテーター）	40 人
6 月 18 日（木） 韓国・済州島	日韓国交正常化 50 周年記念学術 大会 日韓関係の軌跡 1	「最前線・九州における 日韓地方間交流」	加峯次長（発表&討論）	120 人
8 月 18 日（火） 九経連会議室	中華経済研究院（台湾）と（一社） 九州経済連合会・（公財）九州経済 調査協会との意見交換会	アベノミクス日本再興 戦略の展開と日台連携 の新方向	田代常務理事（報告） 小柳研究員（報告） 徳田主任研究員（報告）	11 人
9 月 2 日（水） 共創館 カンファレンス	英国ライフサイエンスセミナー （主催：英国総領事館、（公財）九 州経済調査協会）	日英連携によるビジネ スと研究開発の機会	（幹事：能本研究主査、 平田次長）	50 人
9 月 4 日（金）～ 5 日（土） 福岡市	福岡・釜山フォーラム 第 10 回 福岡会議 第 1 セッション	「福岡・釜山地域連携の 成果と課題」	高木理事長（発表） （運営幹事：加峯次長）	100 人
11 月 4 日（水） 韓国・ロッテホ テル釜山	第 14 回 環黄海経済・技術交流 会議 本会議	日中韓国 3 国共同研究 調査結果の中間発表	田代常務理事 （本会議報告） 徳田主任研究員 （実務者会議報告）	300 人
12 月 8 日（火） 中国・上海市	上海社会科学院日本研究センタ ー・九州経済調査協会 2015 年 学術交流会	「九州の林業と中国の 林業について」、「九州 におけるクルーズ船受 入の現状と課題」	能本研究主査（報告） 上田研究員（報告）	12 人
3 月 5 日（土）～ 3 月 6 日（日） 福岡国際会議場	第 10 回アジア太平洋アクティ ブ・エイジング会議 in 福岡 （ACAP2016 福岡大会）（主催： 福岡市）	セカンドライフセミナ ー、ポスターセッション	南研究主査（報告）	300 人

⑤九州圏広域地方計画の周知に向けた協力

新たな国土形成計画の策定に向けた九州地域活性化シンポジウムが、福岡、宮崎、長崎の 3 カ所で開催され、当会は開催協力を行った。

日程 場所	会議名 (主催者等)	テーマ	講師等	参加 人数
4月27日(月) JR九州ホール	九州地域活性化シンポジウム (主催：国土交通省九州地方整備局 (一社)九州経済連合会、(公財)九州経済調査協会)	ゲートウェイ九州とインフラ のストック効果～新しい風を 西から～	田代部長(報告)、 森本理事長(パネ ル・コーディネータ)	600人
6月25日(木) MRTmicc ダイヤモンド ホール	九州地域活性化シンポジウム in 宮崎 (主催：国土交通省宮崎河川国道事 務所宮崎県商工会議所連合会 後援：(公財)九州経済調査協会ほか)	東九州新時代のインフラス tock効果	(田代常務理事)	610人
7月15日(水) 長崎ブリック ホール	九州地域活性化シンポジウム in 長崎 (主催：国土交通省九州地方整備局 後援：(公財)九州経済調査協会ほか)	西九州地域の潜在力ポテンシ ヤルを高めるインフラ投資と ストック効果	田代常務理事(パネ ル・コーディネータ)	450人

⑥その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会等、さまざまな機関と研究会やセミナーなどを行っている。

1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行の調査担当部長やシンクタンクの部長級が集まり、各地の調査報告と情報交換を行っている。当会は第1回から参加しており、講演することが恒例となっている。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加 人数
8月6日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部 長会議(福岡)	「明治日本の産業革命遺産」 その保存と活用	田代常務理事(講演)	15人
2月25日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部 長会議(宮崎)	「南チロルの畜産業とパイ オガス発電」	田代常務理事(講演)	15人

加盟機関：(株)FFG ビジネスコンサルティング、(株)ちくぎん地域経済研究所、(株)佐賀銀行総合企画部、(株)長崎経済研究所、(公財)地方経済総合研究所、(株)大銀経済経営研究所、(一財)みやぎん経済研究所、(株)鹿児島経済研究所、(株)りゅうぎん総合研究所、(株)おきぎん経済研究所、(一財)山口経済研究所、(公財)九州経済調査協会

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟。平成27年度は九州・沖縄ブロックの3つの会議に参加した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加 人数
6月4日 (木)	地方シンクタンク協議会 九 州・沖縄ブロック総会・交流会	交流会報告「福岡通勤・北九 州在住の支援可能性基礎調 査の概要報告」	中川研究主査(報告)、田中企 画主幹、案浦部長、内川調査役	13人
11月26日 (木)	地方シンクタンク協議会 九 州・沖縄ブロック意見交換会(エ クスカーション)	講演会「豊前海の魚流通から 日本の魚問題を考える」	石谷誠 (株)はまげん代表取締 役(講師)、島田研究主査	10人
3月8日 (火)	地方シンクタンク協議会 九 州・沖縄ブロック若手研究員交 流会	講演会「インバウンドの現状 と将来」	村上和夫氏 立教大学観光学 部教授(講師) 八木研究員、田中副部長	23人

九州・沖縄ブロック加盟機関：(株)よかネット、日鉄住金テクノロジー(株)八幡事業所、(公財)福岡アジア都市研究所、(株)ちくぎん地域経済研究所、(公財)九州経済調査協会

3) その他（意見交換会等）

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
7月4日 (土)～5日 (日)	九州未来会議 in 唐津 (主催：九州経済フォーラム、 共催：(公財)九州経済調査協会 ほか)	九州の30年後の姿を考える	高木理事長（第1分科会パネリスト）、田代常務理事（第3分科会パネリスト）	300人
7月13日 (月)	九州経済産業局企画課と九経調との意見交換会	オリンピック・パラリンピックに関する九州の取組について	岡野次長、平田次長	10人
7月16日 (木)	福岡市子ども未来局との意見交換会	「福北」次世代人材育成のための政策研修	八尋部長、清水研究主査	5人
7月21日 (火)	九州農政局と九経調との意見交換会	都市再構築と地方創生のデザイン	岡野次長（報告）、高木理事長、田代常務理事、片山次長、岡本次長、小柳研究員、八木研究員、松本調査役	30人
8月20日 (木)	九州地域戦略会議 夏季セミナー 第1分科会	論点1 若者の地域定着、域外からの還流を促進する方策について	田代常務理事（司会）	40人
10月9日 (金)	(一財)日本経済研究所と九経調との意見交換会	地域の総合力を生かした地方創生を実現するために	鍋山徹 専務理事・地域未来研究センター長。大西達也 調査局長・地域未来研究センター副局長。田代常務理事、片山次長、岡野次長、小柳研究員	6人
10月29日 (木)	日本銀行福岡支店と九経調との意見交換会	「九州考」	森本顧問（講演） 田代常務理事、八尋部長、岡本次長、藤井主任研究員	40人

（2）受託研究事業

平成27年度の受託研究事業は主に3つの特徴があった。1つには受託研究事業においても「地方創生」が主要テーマであり、受託60件のうち9件が「まち・ひと・しごと総合戦略」に関する調査業務となっている。2つには「観光」分野に関する調査が多い点で、外国人観光客誘致に向けてのマーケティング戦略に係る内容が多くなっている。3つには「次世代の産業及び地域社会」をテーマとする業務を複数手掛けている点である。IoTに関する受託研究を複数獲得しているほか、高齢社会下の持続可能なコミュニティのあり方など調査研究に加え、事業そのものを推進する業務を積極的に手掛けている。

■分野別受託研究一覧 （計60件）

受託調査名		委託
（統計作成・分析）		
1	地域別支出総合指標(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	景気ウォッチャー調査（九州地域）	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)（←内閣府）
3	平成23年熊本市産業連関表作成等業務委託（うち平成27年度業務）	熊本市
4	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)クープス（←福岡市）
（地方創生）		
5	直方市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る調査・分析業務	直方市

6	大刀洗町人口ビジョン・総合戦略策定支援業務	大刀洗町
7	福津市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定業務	福津市
8	下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事前調査等業務	下関市
9	「佐賀市人口ビジョン」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定支援業務	佐賀市
10	「鳥栖市人口ビジョン」及び「鳥栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定支援業務	鳥栖市
11	錦町人口ビジョン及び総合戦略策定支援業務	錦町
12	球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略及び球磨村人口ビジョン策定支援業務	球磨村
13	大野城市版総合戦略等策定支援業務	大野城市
(地域振興)		
14	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
15	筑後川における上下流関係についての調査分析業務	(公財)筑後川水源地域対策基金
16	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
(産業振興)		
①産業全般		
17	直方市産業振興アクションプラン策定業務委託	直方市
18	第4次産業革命（ＩＯＴ時代のものづくり）勉強会	(一財)九州地域産業活性化センター
19	北九州市における製造業の生産性向上対策立案に向けた基礎調査	(公財)北九州産業学術推進機構
20	オープンイノベーション拠点整備事業	飯塚市
②環境・資源エネルギー		
21	再生可能エネルギー産業化に向けた調査及びプラン作成に関する業務	(一社)九州経済連合会
22	環黄海3国共同研究調査	九州経済国際化推進機構
23	九州版炭素マイレージ制度に係るポイント運営管理事務局委託業務	九州版炭素マイレージ制度推進協議会(大分県)
24	CO2フリー水素サプライチェーンに係る市場ニーズ・技術シーズ調査及びビジネスマッチング事業	デロイト トーマツ コンサルティング(株) (←九州経済産業局)
25	九州クリーンエネルギー・水素社会推進事業	(一財)九州地域産業活性化センター
26	クリーンエネルギー分野知財活用事例調査	九州経済産業局
27	九州ソーラーネットワーク事務局運営	九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク (SONEQ) 事務局
28	CO2抽入による炭層メタンガス産出に関する研究会事業	(一財)九州地域産業活性化センター
29	新分野進出支援事業(新エネルギー関連リサイクル産業進出支援事業)	(公財)北九州産業学術推進機構
30	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県
③観光		
31	八重山・台湾における国境観光の実現可能性検討調査／八重山・台湾における国境観光フィージビリティ調査	竹富町、北海道大学
32	総合特別区域事後評価書等の作成支援業務	(一社)九州観光推進機構
33	小国町観光ビジョン策定支援業務	小国町
34	産業観光を活用した地域活性化事例調査	九州経済産業局
35	観光戦略の策定に係るマーケティング調査業務	九州運輸局
36	「温泉アイランド九州」広域観光周遊ルート形成計画磨き上げに向けた調査事業	九州運輸局
37	第二期九州観光戦略第二次アクションプラン作成業務	(一社)九州観光推進機構

④農林水産・食料品		
38	泡盛製造業等実態調査事業	㈱りゅうぎん総合研究所（←沖縄県）
39	厳原港社会効果促進工事（貿易拡大検討業務）	長崎県対馬振興局
40	西諸(二期)農業水利事業 6次産業化促進効果測定手法検討業務	九州農政局西諸農業水利事業所
41	地域材製品に関する出口戦略のための実態調査業務	(一財)大川インテリア振興センター
42	北九州市立食肉センター経営改善検討支援業務	北九州市
43	アグリガーデンスクール&アカデミー事業を中核とする朝倉市地方創生事業	(一財)日本エコ・アグリテクノロジー
⑤医療・福祉		
44	2030年代をみすえた機能統合型コミュニティ形成技術	国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
45	福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
46	「高齢者生活支援人材育成事業（統括業務）」支援業務	福岡市社会福祉協議会（←福岡市）
47	国際技術動向市場調査資料作成業務	㈱福岡県産業・科学技術振興財団
48	「障がい児・者福祉施設と地域との関係に関するアンケート調査」に伴う集計・分析業務	福岡市
⑥新産業・その他		
49	IoTを活用した地域経済活性化に関する調査及びセミナー実施業務	北九州市
50	インキュベート施設等調査委託	福岡市
(社会資本)		
51	九州地区における投資戦略把握調査	九州地方整備局
52	福岡コンベンションゾーン経済波及効果調査業務委託	(公財)福岡コンベンションセンター
53	グローバルアリーナによる経済波及効果推計調査業務委託	宗像市
54	「九州国立博物館運営に伴う経済・文化への波及効果」調査に付随する CVM による経済的評価調査	福岡県
55	九州地方整備局管内の社会資本整備に関する説明資料等整理	九州地方整備局
56	地域活性化資料収集整理	九州地方整備局
(雇用・人材育成等)		
57	「少子高齢化・雇用委員会」運営支援業務	(一社)九州経済連合会
(アジア戦略)		
58	東アジア、ASEAN 地域における九州企業の経済交流拡大に向けた調査事業	九州経済産業局
(その他)		
59	コミュニティの持続可能性に関する調査研究業務	竹富町
(シンポジウム等)		
60	The 15th International Workshop on Microelectronics Assembling and Packaging	アジア半導体機構 (ASTSA)

最近では受託の一環として、セミナーやシンポジウムを開催することが増えている。平成 27 年度は受託研究の関連で下記のセミナー等を開催した。

■受託研究に関連するセミナー

日 程	会場	会 合 名	主 催 ・ 共 催 機 関
10 月 13 日 (火)	電気ビル共創館 カンファレンス	第 1 回 第 4 次産業革命・IoT の動向 と九州の産業研究セミナー	主催：九州経済産業局、九州大学、(一財)九州地域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
11 月 17 日 (火)	電気ビル共創館 カンファレンス	第 2 回 第 4 次産業革命・IoT の動向 と九州の産業研究セミナー	
1 月 20 日 (水)	電気ビル共創館 カンファレンス	第 3 回 第 4 次産業革命・IoT の動向 と九州の産業研究セミナー	
2 月 25 日 (木)	安川電機みらい 館	第 4 回 第 4 次産業革命・IoT の動向 と九州の産業研究セミナー	
10 月 9 日 (金)	西日本総合展示 場 新館	エコテクノ 2015 クリーン技術新分 野進出セミナー	主催：九州経済産業局、(一財)九州地域産業活性化センター、(一財)九州産業技術センター、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ、九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク
10 月 9 日 (金)	西日本総合展示 場 新館	エコテクノ 2015 再生可能エネルギ ーリレーセミナー	主催：九州経済産業局、九州ソーラー&クリーンエネルギーネットワーク、(一財)九州地域産業活性化センター
1 月 28 日 (木)	電気ビル共創館 みらいホール、カ ンファレンス	九州水素・燃料電池フォーラム	主催：九州経済産業局、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会
3 月 7 日 (月)	福岡市市民福祉 プラザ	おたがいさまコミュニティシンポジウ ム (南研究主査が調査結果報告)	主催：福岡市社会福祉協議会、共催：NPO 法人アジア・エイジング・ビジネスセンター、(公財)九州経済調査協会
3 月 22 日 (火)	沖縄県市町村自 治会館ホール	泡盛消費拡大に向けたシンポジウム (徳田主任研究員が調査結果報告)	主催：(株)りゅうぎん総合研究所、(公財)九州経済調査協会
3 月 28 日 (月)	電気ビル共創館 カンファレンス	地域資源を生かした地域活性化・集客 セミナー (大谷主任研究員が調査結果報告)	主催：九州経済産業局、(公財)九州経済調査協会

(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から溝江建設(株)の支援を受けて実施している。

平成 27 年度は、8 月 21 日～9 月 25 日の応募期間に 38 本の申請があり、10 月 8 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で助成先 6 本を選定した。平成 28 年 1 月 29 日の〆切までに 9 本の応募(助成先 6 本、自由応募 3 本)があり、2 月 16 日の委員会で顕彰者を選定した。3 月 18 日には西鉄グランドホテルにおいて表彰ならびに研究発表会を開催した。

■平成 27 年度 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先

区分		テーマ	申請者・研究代表者(敬称略)
30 万円 助成	1	介護の国際調和化の拠点となる人材育成・研究機能のあり方研究	NPO 法人 アジアン・エイジング・ビジネスセンター 理事 清崎昭紀
	2	九州における韓国からの大学生インターン受け入れに関する実態調査ー釜山・福岡間での取り組みを中心にー	九州大学持続可能な社会のための決断科学センター 助教 鄭有景

10 万円 助成	1	「小さな拠点」を念頭においた九州中山間地の拠点ネットワーク形成	九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター 助教 加知範康
	2	訪日外国人急増を踏まえた九州観光の現状と課題について	(株)ジェーシービー 主任 平山雄太
	3	九州の経済成長戦略と MICE(ビジネス・イベント) の活用に向けた課題	(株)JTB 九州 コミュニケーション事業部 マネージャー 前嶋了二
	4	九州における観光産業としての「おもてなし」の経営分析	九州産業大学 商学部 観光産業学科 講師 森下俊一郎

■九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名（敬称略）	所属	役職	備考
1	長尾 亜夫	西日本鉄道(株)	相談役	民間
2	川崎 隆生	(株)西日本新聞社	代表取締役社長	民間
3	嶋津 祐一	(株)日本政策投資銀行	九州支店長	民間
4	安浦 寛人	九州大学	副学長	大学
5	高木 直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	

■九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

日 程	内 容
8 月 21 日（金） ～9 月 25 日（金）	平成 27 年度 九経調地域研究助成事業 研究テーマの募集
10 月 8 日（木）	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。助成先を選定 （～平成 28 年 1 月 29 日 論文提出締切）
2 月 16 日（火）	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。顕彰者を選定
3 月 18 日（金）	表彰、研究発表会を開催（於：西鉄グランドホテル）。来場者 214 人

■九経調地域研究助成・顕彰事業 審査結果

区分	助成論文	受賞者	助成内容
みぞえ賞 （最優秀賞）	生活の質と防災力の向上を目指した「小さな拠点」形成のための生活サービス施設・居住地集約策の検討	九州大学工学研究院 助教 加知範康	10 万円助成
溝江建設賞 （優秀賞）	国際介護人材の養成について ～介護の担い手の確保を目指して～	NPO 法人 アジアン・エイジング・ビジネス センター 清崎昭紀	30 万円助成
奨励賞	訪日外国人急増を踏まえた九州観光の現状と課題について	(株)ジェーシービー 主任 平山雄太	10 万円助成
	九州の経済成長戦略と MICE(ビジネス・イベント)の活用に向けた課題	(株)JTB 九州 コミュニケーション事業部 マネージャー 前嶋了二	10 万円助成
	ヴェカンスのススメ～五感で味わう九州～	西日本鉄道(株) 黒川文香	自由応募
	福岡・釜山地域の交流拡大に向けた提言 ～福岡・釜山大学生未来フォーラム 2015 の 取り組みより～	「福岡・釜山大学生未来フォーラム 2015」 参加学生 山口祐香、金在範、井上陽南 子、原田由理子	自由応募

2. 経済図書館事業（BIZCOLI 事業）

BIZCOLI は「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点として業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。さらに知的刺激を受ける場としてセミナー・イベントを開催している。企業との共同展示やアート作品を通じて、ビジネスパーソンのアイディアの創出や発想の転換を促進している。また、マイデスクゾーン（個室）は、企画書作成や自己研鑽をする空間として活用されている。

（１）BIZCOLI の利用状況

平成 27 年度の利用者数は 15,486 人であり、4 年連続で前年度を上回って推移している。セミナー等の定期開催、広報にも努めたこともあって利用者数が増加している。

こうした活動と実績が認められ、民間、各種団体、官庁などの図書館で構成される専門図書館協議会（東京）から、新しい図書館の可能性を提示したとして、「団体功績賞」を九州で初めて受賞した。

■BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数
平成 24 年度	8,044 人
平成 25 年度	12,238 人
平成 26 年度	13,479 人
平成 27 年度	15,486 人

備考）BIZCOLI 開館前の平成 23 年度の経済図書館利用者数は 1,350 人

（２）BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、①九経調イブニングセミナー、②会員共催セミナー、③経営スキルアップセミナー、④九州国立博物館応援セミナー、⑤サイエンスカフェ、⑥文化セミナー、⑦ビズコリクラブなど数多くのセミナーやイベントを開催している。多くのセミナーでは、終了後に交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成にも努めている。

平成 27 年度から新たにスタートした「ビズコリクラブ」は、当会役員などを対象として、大学ゼミ形式で教養を深める少人数セミナーである。

BIZCOLI でのセミナー・イベント 計 69 回 （平成 27 年度、CMMS 開催協力を除く）

①九経調イブニングセミナー（計 17 回）

平成 22 年度より業後の時間を利用して、九経調会員各位や関係者が自由に参加できるセミナーを開催している。平成 27 年度は、九州経済調査月報の内容報告を毎月開催したほか、外部専門家によるセミナーなど計 17 回開催した。

No. 日程	テーマ	講師（幹事）	参加 者数
第 64 回 4 月 7 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 4 月号「新しい公共」	NPO 法人サポートセンター代表 古賀桃子氏 小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	23 人
第 65 回 4 月 24 日（金）	「九州経済産業局の地域経済施策～新しい中小企業支援施策の概要～」	九州経済産業局 産業部中小企業課総括係長 田中幸仁氏、（中川研究主査）	34 人
第 66 回 5 月 12 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 5 月号「地方創生・地方分権・道州制」	九州大学名誉教授 矢田俊文氏 小柳研究員、（岡野次長）	36 人
第 67 回 6 月 2 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 6 月号「離島発の国際展開」	小柳研究員、藤井主任研究員、片山次長、（岡野次長）	16 人
第 68 回 7 月 7 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 7 月号「医療技術の海外展開」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	16 人
第 69 回 7 月 30 日（木）	「地域資源を有効活用したエネルギー」	㈱ATGREEN 取締役 飯塚誠氏 （徳田主任研究員）	18 人
第 70 回 8 月 5 日（水）	BIZCOLI TALK 月報 8 月号「歴史活用～戦後 70 年を機に展望」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	13 人
第 71 回 9 月 1 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 9 月号「これからの福岡空港」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	23 人
第 72 回 9 月 18 日（金）	「①香港の新しい活用術」 「②中国最新動向アップデート・ビジネス、税務、会計面を中心に」	税理士法人プライスウォーターハウスクーパース（PwC）中国、①香港・華南エリア統括 パートナー 柴良充氏、②華中エリア統括代表 パートナー（華北エリア兼任）高橋忠利氏、（片山次長）	30 人
第 73 回 10 月 6 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 10 月号「ビッグデータ活用による社会分析」	小柳研究員、藤井主任研究員、清水研究主査、（岡野次長）	28 人
第 74 回 11 月 10 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 11 月号「輸送用機器製造と九州」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	17 人
第 75 回 12 月 1 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 12 月号「地域と企業の市場共創」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	17 人
第 76 回 1 月 5 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 1 月号「九州の新たな 1 年」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	30 人
第 77 回 1 月 29 日（金）	「九州と北海道から何ができるか～北と南の境界地域から世界を結ぶ～」	北海道大学教授・九州大学アジア太平洋未来研究センター教授 岩下明裕氏（島田研究主査）	20 人
第 78 回 2 月 2 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 2 月号「経済見通し」	小柳研究員、藤井主任研究員、（岡野次長）	14 人
第 79 回 3 月 3 日（木）	「位置情報ビッグデータを活用した観光客の動体調査最前線」	㈱コロブラ コーポレート統括本部おでかけ研究所 グループマネージャー 酒井幸輝氏、（岡野次長）	24 人
第 80 回 3 月 8 日（火）	BIZCOLI TALK 月報 3 月号「九州新幹線開業 5 周年」	大分大学 経済学部准教授 大井尚司氏 小柳研究員、大谷主任研究員、（藤井主任研究員）	21 人

注）自主研究・事業基金を活用した事業

②会員共催セミナー（計 9 回）

会員との共催でセミナーを開催している。上期は、㈱西日本シティ銀行との共催で「アジアゲートウェイとしての FUKUOKA」第 2～7 回を開催した（第 1 回は前年度に開催）。下期は、㈱電通九州との共催で「Kyushu Beyond2020」を、スポーツ、インバウンド、デジタルをテーマに計 3 回開催した。

■アジアゲートウェイとしての FUKUOKA (㈱西日本シティ銀行との共催、6回)

日 程	テーマ	講 師	共催機関	参加者数
4月23日 (木)	アジアゲートウェイとしての FUKUOKA ～地方創生の実現と地域インフラ～第2回 グローバル時代に対応する福岡空港	大阪航空局福岡空港事務所 空港長 垣阪紀之氏	㈱西日本 シティ銀 行	51人
5月20日 (水)	アジアゲートウェイとしての FUKUOKA ～地方創生の実現と地域インフラ～第3回 アジアとの交流の軌跡	博多港ふ頭㈱ 専務取締役 大東光一氏	㈱西日本 シティ銀 行	39人
6月24日 (水)	アジアゲートウェイとしての FUKUOKA ～地方創生の実現と地域インフラ～第4回 日本の対アジア拠点港を目指す博多港	福岡市港湾局理事 石原洋氏	㈱西日本 シティ銀 行	51人
7月8日 (水)	アジアゲートウェイとしての FUKUOKA ～地方創生の実現と地域インフラ～第5回 九州・アジアの玄関口である博多駅とその 周辺のまちづくり	九州旅客鉄道㈱博多駅長 山根久資氏 九州旅客鉄道㈱事業開発本部博多 まちづくり推進室長 原愼義之氏	㈱西日本 シティ銀 行	57人
8月19日 (水)	アジアゲートウェイとしての FUKUOKA ～地方創生の実現と地域インフラ～第6回 アジアのビジネス拠点を目指す天神	西日本鉄道㈱ 取締役専務執行役員 高崎繁行氏	㈱西日本 シティ銀 行	68人
9月8日 (火)	アジアゲートウェイとしての FUKUOKA ～地方創生の実現と地域インフラ～第7回	基調講演：九州大学工学部建築学 科 教授 坂井猛氏 パネリスト：九州地方整備局 局 長 鈴木弘之氏、福岡地域戦略推 進協議会 会長 麻生泰氏、㈱西 日本シティ銀行 取締役会長 久 保田勇夫氏	㈱西日本 シティ銀 行	300人

■Kyushu Beyond 2020 (㈱電通九州との共催、全3回)

日 程	テーマ	講 師	共催機関	参加者数
10月6日 (火)	Kyushu Beyond2020 ～九州のポテンシャルを最大化する～ 第1回「スポーツで九 州を変える」	基調講演：有森裕子氏 パネリスト：九州ラグビーフットボール協会 書記長 城戸英敏氏、㈱電通スポーツ局 2020 東京オリンピック・ パラリンピック室 マーケティング部長 坂牧政彦氏、 ㈱電通九州コミュニケーションプランニング局長 藤 本浩司氏	㈱電通九 州	120人
11月26 日(木)	Kyushu Beyond 2020 ～九州のポテンシャルを最大化する～ 第2回「インバウンド で九州を変える」	基調講演：㈱やまごころ 代表取締役 インバウンド 戦略アドバイザー 村山慶輔氏、 ㈱電通九州 CP 局 CP 部マーケティング・スーパーバイ ザー 前啓太氏 パネラー：百度(バイドゥ)日本法人国 際事業室 室長 高橋大介氏、㈱電通 ビジネス・クリ エーション・センターパブリックプロジェクト室プロジ ェクト3部 部長 高橋邦之氏、㈱電通九州 CP 局 CP 部 部長 坂本努氏、九経調事業開発部 部長 八尋和郎	㈱電通九 州	150人
12月10 日(木)	Kyushu Beyond 2020 ～九州のポテンシャルを最大化する～ 第3回「デジタルで九 州を変える」	基調講演：LINE㈱上級執行役員法人ビジネス担当 田 端信太郎氏、ヤフー㈱検索事業本部長 西田修一氏、㈱ 宣伝会議 マーケティング研究室 室長 月刊「宣伝会 議」編集長 谷口優氏 パネラー： 田端信太郎氏、西 田修一氏、谷口優氏 電通九州デジタルビジネス部 吉 沢力氏、平良文氏、木村政伸氏、毛利慶吾氏、横林希美 氏、高倉宏佑氏、モデレーター：㈱電通九州 CP 局デジ タルビジネス部長 是澤真人氏、九経調 事業開発部 部長 八尋和郎	㈱電通九 州	150人

③経営スキルアップセミナー（計 14 回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による経営スキルアップセミナーは、計 14 回開催した。6 月 25 日の「結果を出すビジネスコミュニケーション」術では、日本マイクロソフト(株)マイクロソフトテクノロジーセンター長の澤円氏を講師に招いて開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5 月 18 日 (月)	メディアを活用したシティプロモーション 第 1 部 香港から九州へ～更なる誘客に向けたアプローチ 第 2 部 メディア活用による地域プロモーションの成功事例	日本政府観光局 (JNTO) 香港事務所 次長 清水泰正氏 九州朝日放送(株) コンテンツ事業部 部長 香月和宏氏	105 人
6 月 25 日 (木)	「結果を出すビジネスコミュニケーション」術	日本マイクロソフト(株) マイクロソフトテクノロジーセンター センター長 澤円氏	140 人
8 月 10 日 (月)	決済インフラ革命	(株)野村リサーチ・アンド・アドバイザリー 主任研究員 山品俊二氏 (株)AliveCast 代表取締役 中村理氏	18 人
9 月 9 日 (水)	スマホポイントシステムで売上向上	(株)AliveCast 代表取締役 中村理氏	8 人
11 月 25 日 (水)	企業トップセミナー 「総合生活産業の地域密着戦略」	第一交通産業(株) 代表取締役社長 田中亮一郎氏	24 人
11 月 26 日 (木)	第 1 回決断科学セッション 「決断科学とは何か～科学的決断力を高める」	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 金本圭一朗氏 九州大学大学院 理学研究院教授・持続可能な社会のための決断科学センター センター長 矢原徹一氏	32 人
12 月 22 日 (火)	中国・台湾の統計・諸制度に強くなる ～ワークショップ in 福岡	国立国会図書館 関西館アジア情報室 富田圭一郎氏、齊藤まや氏 日本貿易振興機構 アジア経済研究所 図書館 狩野修二氏	11 人
1 月 28 日 (木)	企業ブランディングを促進するオフィスづくり	(株)アドアルファ 代表取締役社長 中島洋史氏	14 人
2 月 25 日 (木)	メンタルヘルスから考えるオフィスづくり	(株)アドアルファ 代表取締役社長 中島洋史氏 ヒューマン&ヒューマン(株) 取締役・心理カウンセラー 川原和代氏	14 人
3 月 10 日 (木)	デジタル時代のリスクとコミュニケーション ～ネット炎上対策とデジタル広告のトレンド～	(株)エルテス 福岡オフィス オフィス長 渡邊隆氏 (株)電通九州 コミュニケーションプランニング局 プロデューサー 平良文氏	28 人
3 月 14 日 (月)	人を動かすマーケティング	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 准教授 山本晶氏	43 人
3 月 15 日 (火)	マーケット調査の流儀	国立国会図書館 科学技術・経済課 稲濱みのる氏	22 人
3 月 24 日 (木)	世界のオフィスづくりセミナー	vitra.japan シニアセールスマネージャー 坂井陽平氏 (株)アドアルファ 代表取締役社長 中島洋史氏	22 人
3 月 26 日 (土)	心理学に学ぶ「無意識を整える」技術	九州大学芸術工学研究院及び高等研究院 准教授 妹尾武治氏	47 人

④九州国立博物館応援セミナー（計4回）

九州国立博物館の企画展にあわせて開催している。平成27年度は4回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月13日 (水)	九州国立博物館・「戦国大名展」応援セミナー～「戦国大名たちのアジア戦略」	九州国立博物館 主任研究員 荒木和憲氏	24人
8月4日 (火)	九州国立博物館・「大英博物館展」応援セミナー～九国博・時空を超えた100物語	九州国立博物館企画課長兼文化交流展室長 河野一隆氏、九州国立博物館企画課アソシエイトフェロー 西島亜木子氏	22人
10月22日 (木)	九州国立博物館特別展「美の国 日本」応援セミナー 東アジア世界と「美の国 日本」	九州国立博物館 課長 楠井隆志氏	28人
1月21日 (木)	九州国立博物館特別展「黄金のアフガニスタン」応援セミナー アフガニスタンの奇跡～守り抜かれた秘宝	九州国立博物館 学芸部 部長 小泉恵英氏	23人

⑤サイエンスカフェ（計10回）

九州大学の企画、当会 BIZCOLI の主催で、市民と科学者による気軽な勉強会として毎月1回開催している。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、今期は、生命科学、工学、化学などのテーマを取り上げた。

また、日本農芸化学会の相談を受け、酒造をテーマとするサイエンスカフェを開催した。

■サイエンスカフェ@ふくおか（九州大学との共催）

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月17日 (金)	第28回サイエンスカフェ@ふくおか「超伝導技術で拓くグリーンイノベーション」～体験してみよう超伝導の世界～	九州大学大学院システム情報科学研究院 電気システム工学部門 教授 木須隆暢氏	31人
5月15日 (金)	第29回サイエンスカフェ@ふくおか「究極のエネルギー！？水素エネルギーに迫る」～水素エネルギーと燃料電池のミライ～	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 燃料電池部門 准教授 西原正通氏	37人
7月3日 (金)	第30回サイエンスカフェ@ふくおか「地球の謎を解き明かす～地球の中を見る、地球の変動を捉える、地球と上手く付き合う～」	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 C02 貯留研究部門 准教授 辻健氏	44人
8月7日 (金)	第31回サイエンスカフェ@ふくおか「九州の西の海の恵みと危機～九州西部の海の環境や資源の管理を考える～」	九州大学大学院工学研究院環境社会部門 准教授 清野聡子氏	27人
9月11日 (金)	第32回サイエンスカフェ@ふくおか「無意識の力に迫る！～知らぬ間に働くあなたの小人～」	福岡女学院大学 分部利紘氏	40人
10月23日 (金)	第33回サイエンスカフェ@ふくおか「現代の錬金術を考える！～周期表を利用した新素材づくり～」	九州大学大学院工学研究院 助教 小野利和氏	25人
12月11日 (金)	第34回サイエンスカフェ@ふくおか「錯視の謎に迫る！」～目で見たものは真実なのか～	九州大学持続可能な社会のための決断科学センター 助教 錢琨氏	25人

2月5日 (金)	第35回サイエンスカフェ@ふくおか 「人間の設計図を紐解く！～物理学が切り開く生命の仕組み～」	九州大学先端物質化学研究所 助教 龍崎奏氏	43人
3月11日 (金)	第36回サイエンスカフェ@ふくおか 「アロマテラピーは科学だ！」 ～香りのパワーと抽出技術に迫る～	福岡大学工学部化学システム工学科 助教 根路銘葉月氏	41人

■他機関との協力

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6月5日 (金)	農芸化学会サイエンスカフェ 目には見えない働き者～微生物が醸す美味しいお酒の話～（主催：日本農芸化学会（公財）九州経済調査協会）	佐賀大学 農学部 教授 小林元太氏 （大谷主任研究員）	30人

⑥文化セミナー（計3回）

文化をテーマにしたセミナーも開催している。今期は、終戦70周年と琉球泡盛をテーマに開催した。また、(有)みぞえ画廊の協力を得て、シャガール作品を展示するとともに、福岡ハイドン弦楽四重奏団の演奏会を開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月28日 (火)	終戦70周年に問う「本音で語り合おう"日中韓ねじれの深層"」	九州・日中民間文化交流協会 会長 張晶氏 RKB 毎日放送(株)前ソウル支局員 高藤秋子氏	39人
8月10日 (月)	琉球泡盛のちょっといい話	沖縄県酒造組合 専務理事 又吉良秀氏	43人
11月24日 (火)	シャガールと音楽のタベ	(演奏) 福岡ハイドン弦楽四重奏団	49人

⑦ビズコリクラブ（計12回）

教養を深める少人数セミナーとして平成27年度から開始した。アメリカの行動経済学者ダニエル・カーネマンの著書『ファスト&スロー～あなたの意思はどのように決まるか』（株早川書房）をもとにした行動経済学の勉強会や、中国哲学及び日本の歴史研究家の橘一徳氏による「今に生きる陽明学」、(株)AliveCast マーケティング部の本山貴春氏による「次世代マーケティング」の勉強会をシリーズ化して開催した。

■ダニエル・カーネマン行動経済学勉強会（全4回）

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6月3日 (水)	ダニエル・カーネマン行動経済学勉強会 「ファスト&スロー～その1」	九州大学芸術工学研究院 准教授 妹尾武治氏 福岡女学院大学 分部利紘氏	13人
7月1日 (水)	ダニエル・カーネマン行動経済学勉強会 「ファスト&スロー～その2」		13人
8月24日 (月)	ダニエル・カーネマン行動経済学勉強会 「ファスト&スロー～その3」		12人
10月9日 (金)	ダニエル・カーネマン行動経済学勉強会 「ファスト&スロー～その4」		12人

■「今に生きる陽明学」（全4回）

日 程	テーマ	講 師	参加者数
8月28日 (金)	第1回「今に生きる陽明学」 温故知新の人間学陽明学セミナー	たちばな教育総合研究 橘一徳氏	13人
9月29日 (火)	第2回「今に生きる陽明学」 「心即理」～聖徳太子から現代まで、儒教 を唯一形にした国、日本～		11人
10月30日 (金)	第3回「今に生きる陽明学」 温故知新の人間学		12人
11月27日 (金)	第4回「今に生きる陽明学」 温故知新の人間学		8人

■次世代マーケティング研究会（全3回）

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月14日 (水)	第1回次世代マーケティング研究会 「オムニチャンネル化戦略」	(株) AliveCast マーケティング部 本山貴春氏	11人
11月20日 (金)	第2回次世代マーケティング研究会 「コンテンツマーケティングで集客する、 超実践編！」		10人
2月19日 (金)	第3回次世代マーケティング研究会 「バズらせる方法ークチコミマーケティ ング最新分析ー」		16人

■「論語とビジネス」（1回）

日 程	テーマ	講 師	参加者数
3月18日 (金)	第1回「論語とビジネス」	たちばな教育総合研究 橘一徳氏	13人

⑧チャイニーズ・マネージメント&マーケティング・スクール（CMMS）開催協力（計22回）

CMMS は、日本香港協会全国連合会が主催しており、中国企業および華人の価値基準や文化的バックグラウンド、ビジネス事例を体系的に学び、華人ビジネスに適応する人材を育てることが目的である。講義は東京、大阪、福岡の3地点をテレビ会議システムでつないで実施された。全22回開催され、14名が受講した。当会は、BIZCOLIの利用や会場の運営などで協力した。

（3）企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、アイディアの発想につながる仕掛けづくりに努めている。平成27年度は、25の行政や企業、団体等と連携して、23件の常設展示、企画展示を行った。

BIZCOLI での企業・団体との共同展示 計23件 （平成27年度）

■常設展示

企業・団体名	展示物など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
九州エネルギー問題懇話会	書籍、提供資料
(有)みぞえ画廊	絵画
ギャラリー風	絵画
(株)エヌ・エヌ・エー	アジア経済情報誌「カンパサール」より写真、地図
麒麟麦酒(株)	世界遺産（福岡・沖ノ島、長崎・キリスト教会群）応援商品
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
(株)TVQ九州放送	経済情報番組「ぐっ！ジョブ」登場企業の商品
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
西日本鉄道(株)	あまおうを使ったスパークリングワイン（イベント用）

■企画展示 沖縄ウィーク in BIZCOLI （平成 27 年 8 月 4 日～8 月 11 日）

企業・団体名	展示物など
(株)沖縄銀行	沖縄の統計パネル・関連書籍
(株)沖縄タイムス社	沖縄の歴史パネル
(株)琉球銀行	戦後直後の通貨（A 円 B 円）

3. 講演会・セミナーの開催

九経調主催の定例の講演会・セミナーとして、①九経調交流会、②研究報告会（旧・特別講演会）、③経済講演会、④調査技法セミナー、⑤アジア経済講演会、⑥九州経済白書説明会、⑦九経調セミナーがある。平成 27 年度は、計 19 件開催した。外部主催の講演会・セミナーには、74 件の講師等の派遣を行った。同じく外部主催のセミナー等への後援や企画協力も行っている。

定例の講演会・セミナー 計 19 件 講師等の派遣 計 74 件 （平成 27 年度）

（１）定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（１件）

九経調の会員各位との交流を目的に毎年開催している。平成 27 年度は、180 人の参加があった。

日 程	内 容	講 師	参加者数
2 月 15 日 (月)	新時代の経済論～ピケティ・ブームのその後	山形浩生氏	180 人

②研究報告会（１件）

平成 26 年度より、九経調幹事会の後に、前年度の幹事会提案の自主研究について研究報告会を開催している。平成 27 年度は、「地方創生」をテーマに自主研究の中間報告を行い、230 人の参加があった。

日 程	内 容	講 師	参加者数
12 月 16 日 (水)	地方創生～「ひと」と「しごと」の好循環に向けて（中間報告）	片山次長	230 人

③経済講演会（１件）

経済のトレンドをテーマとした講演会を行っている。平成 27 年度は、244 人の参加があった。

日 程	内 容	講 師	参加者数
11 月 30 日 (月)	激動する世界経済と日本	ショーン・マクアードル川上氏	244 人

④調査技法セミナー（２日間開催。計 1 件）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。平成 27 年度は、自主研究とも連動し、地域創生・地方創生をメインテーマに著名な講師を招聘して、地方創生の総合戦略策定の知見涵養に資するセミナーを実施した。

日 程	内 容	講 師
8 月 3 日 (月)	地域創生のデザイン 地方創生の実践～徳島の事例～	中央大学大学院経済学研究科 教授 山崎朗氏 (公財)徳島経済研究所 専務理事 田村耕一氏
8 月 4 日 (火)	地方移住のすすめ	(株)スマートデザインアソシエーション代表取締役 (兼・福岡移住計画 代表) 須賀大介氏
	自由討論	調査研究部 岡野次長（コーディネータ）

注 1) 参加機関：(一財)日本経済研究所、(株)福岡銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)筑邦銀行、(株)佐賀銀行、(株)FFG ビジネスコンサルティング、(株)NCB リサーチ&コンサルティング、(株)北九州経済研究所、(株)ちくぎん地域経済研究所、(株)長崎経済研究所、(株)大銀経済経営研究所、(一財)みやぎん経済研究所、(株)りゅうぎん総合経済研究所、(株)おきぎん経済研究所、(一財)山口経済研究所

注2) 自主研究・事業基金を活用した事業

⑤アジア経済講演会（計 1 件）

アジア経済講演会は、昭和 37 年以来、アジア経済研究所との共催で、アジアや特定の海外地域をテーマに開催している。平成 27 年度は、ASEAN 経済共同体（AEC）の設立を前に注目される ASEAN をテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
9 月 24 日 (木)	ASEAN 経済共同体の到達点と 今後の展望	ジェトロ・アジア経済研究所 新領域研究センター 経済統合研究グループ長 梅崎創氏	63 人

⑥九州経済白書説明会（計 12 件）

九州経済白書の刊行後、毎年、九州・山口の 12 都市で開催している。

地 区	日 時	会 場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	3 月 3 日 (木)	FFG ホール (福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	岡野次長	240 人
北九州	3 月 14 日 (月)	FFG 北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	岡野次長	94 人
久留米	3 月 28 日 (月)	筑邦銀行本店 大ホール	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	田代常務	74 人
佐賀	3 月 23 日 (水)	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	田代常務	30 人
長崎	3 月 8 日 (火)	十八銀行本店 別館会議室	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	岡野次長	65 人
佐世保	3 月 11 日 (金)	FFG 佐世保ビル セミナールーム	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFG ビジネスコンサルティング	田代常務	36 人
熊本	3 月 16 日 (水)	肥後銀行熊本駅前支店 セミナールーム くまもと森都心プラザ	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	田代常務	73 人
大分	3 月 24 日 (木)	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	岡野次長	93 人
宮崎	3 月 31 日 (木)	宮崎銀行本店 大会議室	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	岡野次長	73 人
鹿児島	3 月 22 日 (火)	鹿児島銀行 本店別館ホール	(株)鹿児島銀行 (株)鹿児島経済研究所	岡野次長	33 人
沖縄	3 月 9 日 (水)	ANA クラウンプラザホテル沖縄 ハーバービュー 彩海の間	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	岡野次長	52 人
山口	3 月 25 日 (金)	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	田代常務	80 人

注) 2016 年版九州経済白書「中核企業と地域産業の新陳代謝」

⑦九経調セミナー(計2件)

平成24年度より、九州経済白書説明会とは別に、福岡以外の九州・山口の各地で出張セミナーを開催している。平成27年度は、鹿児島と熊本の2カ所で開催した。(熊本ではイブニングセミナーとして開催)

日程	会議名	テーマ	講師	参加者数
2月5日 (金)	九経調セミナー in 鹿児島	「地方創生～「しごと」と「ひと」の好循環に向けて～」	片山次長	34人
2月10日 (水)	九経調イブニング セミナーin 熊本	「2016年度の九州経済見通し」 「位置情報ビッグデータを活用した観光客の動態調査最前線」	小柳研究員、 (株)コロプラおでかけ研究所 酒井幸輝氏	28人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

(2) 外部主催の講演会・セミナーへの協力

1) 外部主催の講演会等への講師派遣 (計74件)

行政や企業など外部主催の講演会に、当会研究員を講師として派遣する事業である。調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。

(※派遣先リストとして、「外部主催の講演会への講師派遣」資料を巻末に掲載)

2) セミナー等への参加・企画協力 (計7件)

当会は、産学官が開催、あるいは共催するセミナーにも主体的に関わっている。

■協力実績 (計7件)

日程・場所	主催者	会合名	備考
5月8日(金) 電気ビル共創館 カンファレンス	宗教法人福岡マシジ	第1回HFC(ハラルフード協議会)セミナー「イスラームの食物基準について」	共催 企画協力
5月14日(木) 福岡SRPセンタービル	(公財)九州先端科学技術研究所(ISIT)	ISIT 研究顧問会議 2014 特別オープンセッション	共催 企画協力
6月9日(火) 電気ビル共創館 カンファレンス	在日フランス商工会	フランスー九州経済投資セミナー	後援
7月30日(木) リーガロイヤルホテル 小倉	(一社)九州経済連合会 九州国際化推進機構(KEI) ジェトロ福岡貿易情報センター	タイ投資セミナー(北九州)	後援
7月30日(木) 電気ビル共創館 カンファレンス	(一社)九州経済連合会 九州国際化推進機構(KEI) ジェトロ福岡貿易情報センター	ベトナム・ダナンセミナーin 福岡	後援
2月9日(火) 電気ビルみらいホール	(株)産学連携機構九州 九州 PPP センター、協賛:大和リース(株)、時事通信社、(株)西日本新聞社、(株)日本政策投資銀行、(株)福岡銀行、(株)西日本シティ銀行	九州 PPP セミナー	協賛
3月11日(金) ホテルニューオータニ 博多	タイ王国大使館経済・投資事務所 全国後援:(省略)。地域後援:九州経済産業局、福岡県、九州経済国際化推進機構、福岡市、北九州市、福岡商工会議所、北九州商工会議所、(公社)北九州貿易協会、(株)北九州銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)福岡銀行	タイ投資セミナー(福岡)	後援

* 上記には、コーディネーターや講師、発言者としての参加を含む

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 460名
平成27年度決算 73,634千円（特別事業除く）

■平成27年度の主な活動（九州経済同友会を含む）

福岡経済同友会	・(株)安川電機ロボット村 視察会 開催 ・第7期九州メンタープロジェクト実施報告会 開催 ・第33回西瀬戸経済同友会交流懇談会 福岡開催 ・県立高等学校、市立中学校にて出前講座 開催 ・2020年東京五輪文化プログラム講演会 開催 ・九州大学箱崎キャンパス跡地利用に関する説明会 開催 ・かたらん会21 福岡経営道場 開催 ・第8回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット 福岡開催 ・第8期九州メンタープロジェクトマッチング会議 開催 ・第12回関門経済同友会交流懇親会 開催 ・県立高等学校、市立中学校にて出前講座 開催 ・第3回社会貢献セミナー 開催 ・第3回四地域委員会合同会議 開催
九州経済同友会	・道州制に関する取り組み 九州はひとつ委員会 地方創生について意見交換会開催 経済4団体での道州制勉強会 開催 九州はひとつ委員会 九州地方整備局長との意見交換会 開催 ・九州地域戦略会議に参画 ・西日本経済同友会 代表者会議に参加 ・九州経済同友会大会 ・会員合同懇談会 ・九州経済を考える懇談会に参加 ・九州地域戦略会議に参画

*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 102回（うち共催・後援 23回）

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の現状・将来動向に関する重要課題について、認識の共有と課題解決の方向性について議論するもので、平成22年度に「地域経営を考える政策懇談会」と

して開始され、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の 3 者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。平成 27 年度は 4 回開催した。

日時 場所	テーマ	参加者
第 1 回 6 月 17 日 (水) 九経連 会議室	1) 九州地域戦略会議における地方創生 P T の中間報告を受けた経済団体の対応につ いて 2) 第 4 次産業革命・IoT による世界の製造 革新の潮流と九州の産業研究会について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター会長 麻生渡氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 顧問 森本廣(コーディネータ)
第 2 回 10 月 1 日 (木) 九経連 会議室	1) 九州圏広域地方計画について 2) 九州地域戦略会議・夏季セミナーの検討 状況報告 3) 九州におけるインバウンドの動向につ いて	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネータ)
第 3 回 12 月 1 日 (火) 九経連 会議室	1) ラグビーW杯、東京オリンピック・パラ リンピック等に関する九州一体となった 取組み ～九州経済の活性化に向けて～ 2) 九州地域戦略会議報告及びフォローアッ プ 3) 本懇談会の今後の進め方・議題について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネータ)
第 4 回 3 月 1 日 (火) 九経連 会議室	1) ラグビーW杯、東京オリンピック・パラ リンピック等を契機とした観光振興など の取組みについて 2) 最高級ホテルの誘致に関する要望につ いて 3) 九州におけるインターンシップの実施状 況について 4) 本懇談会の平成 28 年度議題について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (一社)九州観光推進機構 会長 石原進氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネータ)

(3) アジア半導体機構 (ASTSA) の事務局

ASTSA は、アジアを中心とした海外と九州の半導体関連産業を繋ぐ仲介役として設立された任意団体である。毎年、英語による半導体実装国際ワークショップ (MAP : Microelectronic Assembling and Packaging) を開催している。(ベトナム事業の詳細は、前述 1. (1) ④-3) 参照)

台湾交流ミッションでは、三次元半導体研究センターが中心となって進めている部品内蔵基板技術に関する国際標準化活動を支援し、台湾工業技術研究院や台湾電子回路基板協会との協議を実施した。2016 年 1 月には日本 (福岡) 企業と台湾企業とによるワークショップを台湾の新竹市並びに桃園市において開催した。

インド交流ミッションでは、ASTSA が MOU を締結するインド半導体・エレクトロニクス協会の会長を含む関係者 (大学、企業、自治体など) が 11 月に来日、インド半導体産業のフェーズ変更に伴う MOU の再締結と日系企業訪問を支援した。なお、インド半導体・エレクトロニクス協会では、2016 年内に福岡に日本オフィスを開設する計画であり、引き続きサポートする予定である。

区分	日時・場所	会議名等
事務局会合	5月31日（日）福岡市	幹事会
セミナー等	12月8日（火）福岡市	MAP2015
ビジネスミッション	9月12日（土）～19日（土）ベトナム	九州－ベトナム交流ミッション
	9月21日（月）～23日（水）台湾	九州－台湾交流ミッション
	11月16日（月）～19日（木）福岡市	九州－インド交流ミッション受入

（４）地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」（事務局長：谷口博文 九州大学産学連携センター教授）は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成 22 年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成 27 年度は 101 名（受講生 37 名、聴講生 64 名）が受講し、9 月末までに 11 回の授業を実施し、10 月には「発表会 産学官連携・事例研究～地方創生プロジェクトを成功に導く条件とは～」を開催した。なお、当会の案浦部長がエグゼクティブ・ディレクターを務めた。

■平成 27 年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏 名	所 属
伊藤 明子	まち・ひと・しごと創生本部事務局次長
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
濱 久人	(株)NTT データユニバーシティ
谷口 博文	九州大学 産学連携センター教授
平井 康之	九州大学 大学院芸術工学研究院准教授
都甲 康至	九州大学 大学院芸術工学研究院教授
村上 和彰	九州大学 大学院システム情報科学研究院教授
馬場園 明	九州大学 大学院医学研究院教授
山本 康友	首都大学東京 客員教授
志村 高史	泰野市政策部 公共施設再配置推進課長
東 富彦	(一社)オープン・コーポレイツ・ジャパン 常務理事
脇山 真治	九州大学 大学院芸術工学研究院教授
窪田 昌行	NPO 法人 高齢者健康コミュニティ 理事長
内田 裕之	ホシケミカルズ(株) 企画開発室長
末宗 徹郎	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 次長・内閣審議官

（５）九州ソーラー＆クリーンエネルギーネットワーク（SONEQ）の事務局

SONEQ（会長：高塚汎 太陽光発電技術研究組合 専務理事）は、九州の太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー関連の企業群と行政や教育機関が一体となって、九州における市場拡大や産業の裾野拡大、地場企業の振興、人材育成などをサポートする産学官民ネットワーク組織である。当会は、九州経済産業局の依頼を受けて準備段階から関わり、平成 23 年度の発足とともにその事務局

を務めている。SONEQは会員制の組織であり、平成28年3月31日における正会員（企業等は有料）は80会員、メルマガ会員（無料）は721会員に達している。

平成27年度は、太陽光発電システムや蓄電池の用途展開に関する研究会の開催、電力小売自由化や太陽光発電設備メンテナンスに関するセミナーの開催、太陽光パネルリサイクルシステムの実証研究等を実施した。

■SONEQ 関係行事の開催実績 （計12件）

日程・場所	内 容
6月18日（木）	平成27年度 SONEQ 第1回役員会、研究会テーマ選定審査会、総会、記念セミナー
10月7日（水） ～9日（金）	エコテクノ2015 ～エネルギー先端技術展～
10月21日（水）	センシングシステム用途展開による「太陽光発電システムと蓄電池」の普及促進 第1回研究会
10月29日（木）	LocalのSS（サービスステーション）とPPS事業者によるソーラー買取制限電力の蓄電池貯蔵研究 第1回研究会
11月11日（水）	第1回講演会 電力小売全面自由化がもたらす地域と企業の可能性
11月24日（火）	LocalのSS（サービスステーション）とPPS事業者によるソーラー買取制限電力の蓄電池貯蔵研究 第2回研究会
11月24日（火）	センシングシステム用途展開による「太陽光発電システムと蓄電池」の普及促進 第2回研究会
12月14日（月）	平成27年度 SONEQ 臨時役員会
1月19日（火）	LocalのSS（サービスステーション）とPPS事業者によるソーラー買取制限電力の蓄電池貯蔵研究 第3回研究会
2月9日（火）	センシングシステム用途展開による「太陽光発電システムと蓄電池」の普及促進 第3回研究会
2月10日（水）	第2回講演会 太陽光発電設備の管理・メンテナンス
3月14日（月）	平成27年度 SONEQ 第2回役員会

（6）九州エコライフポイントの事務局

九州地域戦略会議での決議により開始された事業で、九州版炭素マイレージ制度推進協議会の依頼を受けて当会が事務局となり、①節電活動、②植林等の環境保全活動、③省エネ製品の購入といったCO2排出削減につながる行動を実施した住民に対して、九州内のイオン、ローソン、道の駅で利用できる「エコライフポイント」を発行している。

平成27年度は、①について、上期は7～9月を対象期間として約7,000世帯から、下期は12～2月を対象期間として約6,500世帯からの応募があった。②については、九州7県で約100活動を認定した。③については、九州内で製造・提供される省エネ製品11社13製品・サービスを認定した。

なお、九州エコライフポイントの事務局は、平成28年度より他の機関に移管する。

（7）イスラム圏ビジネスネットワーク in 九州（IBnet）の事務局

「イスラム圏ビジネスネットワーク in 九州」は、イスラム教諸国へのビジネス展開を検討する企業による研究会組織で、当会が中心となって運営している。メール・Facebookを用いたニュースレターの発信のほか、イスラム教諸国市場への進出を検討する企業への情報提供、アライアンス構築サポート、講演活動等を実施した。現在、メールマガジンは60会員である。

5. 社会貢献活動等

(1) 対外活動

対外活動は、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への掲載、雑誌等への寄稿、国際会議等への参加を行っている。

区 分	内 容	件数等
①審議会・委員会への委員派遣	行政（九州経済産業局、九州農政局、九州管区行政評価局、福岡県、長崎県、鹿児島県、北九州市、福岡市、糸島市、鳥栖市）、行政関連団体（日本立地センター、科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター、専門図書館協議会、九州 PPP センター、福岡県リサイクル総合研究センター、福岡アジア都市研究所、福岡市社会福祉協議会）、民間団体（九州州経済連合会、九州観光推進機構、経営者顕彰財団、地域企業連合会九州連携機構、半導体目利きボード）、福岡大学、(株)地域開発研究所、など	計 86 回派遣
②大学非常勤講師派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、流通科学大学などに派遣（※1 コマの派遣は含まず）	計 5 大学 7 講座
③テレビ・ラジオ等への出演	NHK 福岡「ニュース 845 福岡」「ロクいち!」、NHK 北九州「ニュースブリッジ北九州」、KBC「ニュースピア」、RKB「サンデーウォッチ」「今日感ニュース」、FBS「めんたい Plus」、TNC「もち浜ストア夕方版」「スーパーニュース」「土曜 NEWS フェイル CUBE」、TVQ「ルックアップふくおか」「週末ランキングチカバケ!」、OAB 大分朝日放送「スーパーJ チャンネルおおいた」、TBS ラジオ「文化系トークラジオ Life」、コミュニティ FM 天神「iClub スマホ・タブレット Cafe」、など	計 49 回出演
④新聞・雑誌掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日刊工業新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムス、夕刊デیلیー(延岡)、鹿児島建設新聞、中国新聞セレクト、愛媛新聞、四国新聞、大阪読売新聞、富山新聞、信濃毎日新聞、下野新聞、岩手日報、秋田魁新報、建設通信新聞、日刊建設工業新聞、日本食糧新聞、電気新聞、日刊スポーツ、時事通信ニュース、FujiSankei Business I、財界九州、おおいたの経済と経営、など	計 279 件掲載
⑤雑誌等への寄稿	(株)NCB リサーチ&コンサルティング「飛翔」、(株)ちくぎん地域経済研究所「ちくぎん地域経済レポート」、(株)鹿児島経済研究所「KER 経済情報」、(株)財界九州社「財界九州」、(一財)日本経済研究所「日経研月報」、(独)労働政策研究・研修機構「ビジネス・レーバー・トレンド」、(株)ウェイツ「港湾」、金融ジャーナル社「月刊金融ジャーナル増刊号」、(一社)日本ショッピングセンター協会「SC JAPAN TODAY」、西日本新聞社「日韓外交正常化 50 年」、日本経済新聞社「Dramatic Japan」、日本食糧新聞社「九州夏期特集」、内閣府「政策コメンテーター報告」、北九州市「アジア成長研究所の評価」、など	計 38 件寄稿
⑥国際会議等への参加	11/3 第 22 回 九韓経済交流会議（韓国・釜山） 11/27～12/2 香港フォーラム 2015 訪問団（広州中山大学・九州交流会議、中山華僑中学・九州交流会議、日本香港協会全国連合会総会、香港フォーラム 2015）	計 2 件参加

(2) インターンシップの受入

調査研究部と BIZCOLI において、インターンシップ生を合計 4 名受け入れた。

期間	研修・インターンシップ派遣元と人数	受入先
8 月 17 日（月）～28 日（金）	愛知学院大学 学部生 1 名	調査研究部
8 月 3 日（月）～12 日（水）	九州大学修士生 1 名	BIZCOLI
8 月 31 日（月）～9 月 11 日（金）	九州大学修士生 1 名	BIZCOLI
8 月 17 日（月）～21 日（金） 9 月 7 日（月）～17 日（木）	中村学園大学 学部生 1 名	BIZCOLI 調査研究部

6. 組織運営の基盤強化

(1) 会員基盤の強化

①賛助会員

BIZCOLI や研究成果の発表、講演、セミナーを通じて、会員拡大に努めている。平成 27 年度は、入会 39 件、退会 26 件となり、期首 563 会員から 13 会員純増して 576 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,648 万円となった。

賛助会員の動向

	合 計				
		維持会員	普通会員	個人会員	町村会員
平成 27 年度期首	563	75	467	19	2
入 会	39	2	36	1	0
退 会	26	1	21	4	0
増 減	13	1	15	-3	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
平成 27 年度末	576	76	482	16	2

・平成 25 年度末 会員数 548 会員

・会費実勢額 1 億 2,106 万円

・平成 26 年度末 会員数 563 会員

・会費実勢額 1 億 2,446 万円

②BIZCOLI 会員

平成 27 年度は、期首 82 会員から 20 会員純増して 102 会員となった。

会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、平成 27 年度末で 747.6 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳(102 会員)

種別	会員数	種別	会員数
フルタイム	3	フルタイム+土曜日	4
デイトタイム	18	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	44	ナイトタイム+土曜日	12
土曜日	19	合 計	102

(2) 公益財団法人としての運営組織の確立

公益財団法人に移行して 3 年が経過した。平成 27 年度は、理事会を 5 回（書面 1 回を含む）、評議員会を 4 回（書面 1 回を含む）開催し、組織運営にあたり迅速な意思決定を行ってきた。また、幹事会と参与会は定例の会議として定着し、地域の産学官の要として、組織力の強化につなげている。

会計については、公益法人会計基準に準拠した明確な財務管理を実施している。

■理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案
5 月 27 日 (水)	第 10 回理事会	議案Ⅰ 平成 26 年度事業報告(案)について 議案Ⅱ 平成 26 年度決算(案)について 議案Ⅲ 参与の委嘱について 議案Ⅳ 評議員会の招集について 議案Ⅴ 役員退職慰労金の支給について 議案Ⅵ その他
6 月 12 日 (金)	第 11 回理事会	議案Ⅰ 代表理事の選定について 議案Ⅱ 業務執行理事の選定について 議案Ⅲ 幹事の選任について 議案Ⅳ 顧問の委嘱について 議案Ⅴ 役員報酬について 議案Ⅵ 評議員の選任について 議案Ⅶ その他
8 月 24 日 (月)	第 12 回理事会 (書面)	議案Ⅰ 幹事の選任について 議案Ⅱ 参与の委嘱について 議案Ⅲ 評議員会(書面表決)の招集について
11 月 2 日 (月)	第 13 回理事会	議案Ⅰ 平成 27 年度上期事業報告(案)について 議案Ⅱ 平成 27 年度更正予算(案)について 議案Ⅲ 幹事の選任について 議案Ⅳ 参与の委嘱について 議案Ⅴ 評議員会の招集について 議案Ⅵ 幹事会の開催について 議案Ⅶ その他
3 月 4 日 (金)	第 14 回理事会	議案Ⅰ 平成 28 年度事業計画(案)について 議案Ⅱ 創立 70 周年記念事業(案)について 議案Ⅲ 平成 28 年度予算(案)について 議案Ⅳ 内閣府への定期提出書類について 議案Ⅴ 幹事の選任について 議案Ⅵ 顧問、参与の委嘱について 議案Ⅶ 評議員会の招集について 議案Ⅷ その他

■評議員会の開催状況

開催日		議 案
6 月 12 日 (金)	第 7 回評議員会	議案Ⅰ 平成 26 年度事業報告について 議案Ⅱ 平成 26 年度決算(案)について 議案Ⅲ 理事の選任について 議案Ⅳ 評議員の選任について 議案Ⅴ その他
9 月 11 日 (金)	第 8 回評議員会 (書面)	議案Ⅰ 評議員の選任について
11 月 19 日 (木)	第 9 回評議員会	議案Ⅰ 平成 27 年度上期事業報告について 議案Ⅱ 平成 27 年度更正予算について 議案Ⅲ 幹事の選任について

		議案Ⅳ 参与の委嘱について 議案Ⅴ 幹事会の開催について 議案Ⅵ その他
3月22日 (火)	第10回評議員 会	議案Ⅰ 平成28年度事業計画について 議案Ⅱ 創立70周年記念事業について 議案Ⅲ 平成28年度予算について 議案Ⅳ 幹事の選任について 議案Ⅴ 顧問、参与の委嘱について 議案Ⅵ その他

■幹事会の開催状況

開催日		議 案
12月16日 (水)	第4回幹事会	議案Ⅰ 新幹事の紹介 議案Ⅱ 平成27年度自主研究の報告 議案Ⅲ 平成28年度自主研究の選定 議案Ⅳ その他

■参与会の開催状況

開催日		議 案
3月8日 (火)	第6回参与会	意見交換会「中核企業と地域産業の新陳代謝」 2016年版九州経済白書 報告者：田代常務理事

(3) 創立70周年記念事業の準備

当会は、平成28年10月に創立70周年を迎える。平成27年度は、次の4つの柱から成る、事業の内容を固めた。創立70周年記念事業の内容については、3月4日の第14回理事会にて承認された。

- ① 「九州地域経済と九経調の70年史」の作成
- ② 「30年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究
- ③ 九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催
- ④ ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

資 料

外部主催の講演会への講師派遣（計 74 件）

No.	日程	依頼先	会合名・テーマ	講 師
1	4月10日 (金)	(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会	PVams 設立一周年セミナー基調講演「九州における PV アフターメンテナンスに関する動向」	藤井主任研究員
2	4月21日 (火)	(一社)福岡銀行協会	卓話 「九州の景気」	岡野次長
3	4月21日 (火)	三菱電機(株)九州支社	「2015 年度九州の景気の現状(動向)と見通しについて」	小柳研究員
4	4月21日 (火)	(株)サワライズ	「九州の景気」	岡野次長
5	4月21日 (火)	中村学園大学	流通科学総合講義Ⅰ 「九州経済とアジア」	田代部長
6	4月23日 (木)	九州電力(株)東京支社	白書東京講演会 with 九電「都市再構築と地方創生のデザイン」(2015 年版九州経済白書)	岡野次長
7	5月13日 (水)	立命館アジア太平洋大学	RCAPS セミナー「九州経済・産業の構造を読む～2015 年度の九州経済の見通し」	岡野次長
8	5月15日 (金)	東ロータリークラブ	「都市再構築と地方創生のデザイン」	岡野次長
9	5月19日 (火)	中村学園大学	「九州におけるイスラムビジネスの現状と可能性」	松嶋研究主査
10	5月20日 (水)	佐賀大学地域経済研究センター	第 199 回 佐賀地域経済研究会 「都市再構築と地方創生のデザイン」	岡野次長
11	5月22日 (金)	熊本ビルディング協会	熊本ビルディング協会 5 月例会「九州の都市構造と成長点～人口減少下の都市再構築のデザイン～」	岡野次長
12	5月28日 (木)	(公社)福岡中部法人会	最近の景気の動向と経済見通し	小柳研究員
13	5月28日 (木)	宮崎県ポートセールス協議会	宮崎県ポートセールス協議会総会 講演会 「新時代を迎える東九州と地方創生のデザイン」	大谷主任研究員
14	5月29日 (金)	北九州市立大学	ビジネススクール講義 「都市再構築と地方創生のデザイン」	岡野次長
15	5月29日 (金)	(公社)日本証券アナリスト協会	例会 「都市再構築と地方創生のデザイン」	田代部長
16	5月29日 (金)	九州大学アジア太平洋未来研究センター	第 1 回ボーダースタディーズアジア太平洋セミナー 「ボーダーツーリズム九州・沖縄と北海道の取り組み」(コメンテーター)	島田研究主査
17	5月30日 (土)	日本貿易学会	第 55 回全国大会 「アジア最前線 九州のグローバル戦略」	加峯次長
18	6月9日 (火)	大分県	大分県自動車関連企業会定期総会「東九州自動車道の開通と自動車産業に与えるインパクト」	田代部長
19	6月11日 (木)	NPO 法人 日本情報技術取引所 九州本部	日本情報技術取引所6月情報交換会	岡野次長
20	6月12日 (金)	防衛省 自衛隊福岡地方協力本部	「有効求人倍率からみる九州の雇用状況と経済見通し」	藤井主任研究員
21	6月15日 (月)	(株)宮崎銀行 福岡支店	福岡ひまわり会 総会 「東九州自動車道(北九州～宮崎)開通のインパクト」	大谷主任研究員
22	6月22日 (月)	鳥栖商工会議所	鳥栖商工会議所議員総会 「都市再構築と地方創生のデザイン」	大谷主任研究員

23	6月29日 (月)	筑後川まるごと博物館運営 委員会	平成 27 年度前期「筑後川流域講座」筑後川流域 社会経済論 I	能本研究主査
24	6月30日 (火)	長崎県立大学	「九州企業論」	八尋部長
25	7月10日 (金)	㈱オービック福岡支店	オービック情報セミナー 「九州の都市構造と成長点」	岡野次長
26	7月12日 (日)	菊池養生詩塾	地域づくり講演会 「都市再構築と地方創生のデザイン」	岡野次長
27	7月17日 (金)	大英産業㈱	「分譲マンションの供給のための立地選定について ～九州の都市構造と成長点」	岡野次長
28	7月21日 (火)	㈱日立製作所 九州支社	九州地区日立グループ会7月定例会「明治日本の 産業革命遺産と文化価値～保存と利活用をどう進 めるか～」	藤井主任研究員
29	7月27日 (月)	青々会(㈱親和銀行本店営 業部)	青々会納涼会 「アベノミクスが九州に与える影響」	小柳研究員
30	7月28日 (火)	副都心黒崎推進会議	「人口減少下での都市再構築戦略」	岡野次長
31	9月3日 (木)	㈱福岡リアルティ	IR 支援会議	片山次長
32	9月4日 (金)～5 日(土)	熊本経済同友会	熊本経済同友会フォーラム	岡野次長
33	9月5日 (土)	観光九州アカデミア研究会	「日本初の国境観光ボーダーツーリズムをつくる」	島田研究主査
34	9月16日 (水)	百道会(西南学院同窓会)	卓話 「広域中心都市・福岡～日本第4の大都市 へ」	田代常務理事
35	10月2日 (金)	九州経済産業局、 (一社)九州経済連合会	第1回 2020 九州チャレンジ委員会「2020 年をどう 迎えるか」	岡野次長
36	10月2日 (金)	丸紅建材㈱	平成 27 年度丸紅建材会講演会	岡野次長
37	10月14 日(水)	福岡県職員研修所	九州・山口各県 職員合同研修	島田研究主査
38	10月17 日(土)	東アジア学会	自由論題研究報告 第一部 座長	加峯次長
39	10月20 日(火)	(一社)福岡銀行協会	卓話「2015 年度 九州経済の見通し 改訂」	田代常務理事
40	10月21 日(水)	北九州商工会議所	情報メディア部会 「IoT(Inter of Things)の概要 及び活用したビジネス展開と地域活性化」	中川研究主査
41	10月27 日(火)	博多イブニングロータリーク ラブ	博多イブニングロータリークラブ例会 「広域中心都市・福岡 日本第4の大都市へ」	大谷主任研究員
42	10月29 日(木)	北九州市	「ハラル」研修(市職員向け研修)	松嶋研究主査
43	11月11 日(水)	富山国際大学	富山県寄附講義 「旅行者からみた富山の観光の魅力」	田代常務理事
44	11月14 日(土)	㈱福岡銀行 中津支店	中津支店 お取引先の会 「九州の景気動向と東 九州道開通のインパクト」	小柳研究員
45	11月15 日(日)	九州大学ビジネス・スクー ル(QBS)	短期エグゼクティブ・プログラム 「九州経済とアジア」	田代常務理事
46	11月19 日(木)	㈱福岡銀行 比恵支店	比恵福銀会経営研究会 「九州経済の現状および見通し」	小柳研究員
47	11月19 日(木)	ケイミュー㈱	代理店社長向け講演会 「九州の景気と建築業の見通し」	藤井主任研究員
48	11月19 日(木)	九州ビルディング協会	「九州経済・産業の動向」	岡野次長

49	11月24日(火)	(一社)九州経済連合会	(一社)九経連九州女性の会 11月例会 「人口減少下での都市再構築戦略」	岡野次長
50	11月25日(水)	九州地方整備局	地方創生研修 「九州における地方創生の取組状況」	田代常務理事
51	11月25日(水)	北九州市	平成27年度 第3回 IoTを活用した地域経済活性化に関するセミナー	中川研究主査
52	11月28日(土)	福岡県立アジア文化交流センター	「九州国立博物館運営に伴う経済波及効果」	松嶋研究主査
53	12月4日(金)	城南区保健福祉センター 地域保険福祉課	城南区地域包括ケア推進会議 生活支援・介護予防部会 ワークショップ 「高齢者の地域の居場所づくりについて」	南研究主査
54	12月25日(金)	(一社)九州経済連合会	九経連職員向け勉強会	小柳研究員
55	1月14日(木)	柳川商工会議所	「平成28年の九州の経済動向」	藤井主任研究員
56	2月2日(火)	あなぶき興産九州(株)	九州アルファ会 平成28年度定期総会 「九州経済の見通し」	小柳研究員
57	2月9日(火)	九経連道州制分科会 (一社)九州経済連合会)	九経連行財政委員会第3回企画部会 「平成の市町村合併の検証」	藤井主任研究員
58	2月10日(水)	(株)時評社	国土強靱化実務セミナーin 大分 「東九州自動車道の利用促進に向けて」	田代常務理事
59	2月10日(水)	パーツネット北九州【(株)コムディア(北九州市)】	東九州自動車産業シンポジウム「東九州自動車道(北九州～宮崎)開通のインパクト」	大谷主任研究員
60	2月10日(水)	ケイミュー(株)	九州井桁藤 CS 会研修会(福岡) 「九州の経済動向の今後」	藤井主任研究員
61	2月12日(金)	ケイミュー(株)	九州井桁藤 CS 会研修会(都城) 「九州の経済動向の今後」	藤井主任研究員
62	2月13日(土)	九州経済フォーラム	九州地域間・産学官連携サミット 全体会 (パネリスト)	高木理事長
63	2月18日(木)	(一社)福岡銀行協会	卓話 「2016年度の九州経済の見通し」	田代常務理事
64	2月18日(木)	(株)日立製作所	日立プライベートセミナーin 熊本 「地方創生」	片山次長
65	2月19日(金)	(株)日立製作所	日立プライベートセミナーin 北九州 「地方創生」	片山次長
66	2月19日(金)	福岡国際大学	社会人教養集中講座 「九州経済の概要、産業動向」	松嶋研究主査
67	2月19日(金)	凸版印刷(株)	「アグリプレナーが拓く農業新時代」	徳田主任研究員
68	2月19日(金)	伊万里市	西九州北部地域開発促進協議会企画担当課長研究会 「『しごと』の地方分散の可能性」	田代常務理事
69	2月23日(火)	デロイトトウシュートマツ	佐賀県農業大学校農業経営塾 第8回 「これからの農業のかたち～アグリプレナーが拓く農業新時代」	岡野次長
70	2月26日(金)	(株)オービック福岡支店	「2016年の九州経済」	藤井主任研究員
71	3月8日(火)	九州大学大学院 人間環境学研究院	九州の地域変動について科研の共同研究会	片山次長
72	3月15日(火)	(公社)北九州貿易協会	「イスラムビジネス」	松嶋研究主査
73	3月17日(木)	(株)福岡リアルティ	福岡リアルティIR支援セミナー 「【しごと】と【人】の地方分散及び財務トピック」	片山次長
74	3月18日(金)	九州産業大学	九産大講演会	岡野次長